

2025年
7月発行
第34号

宝同協だより

めいば 芽生え



ハ
ー
と
ん

編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会 〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号（宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内）
TEL: 0797-77-2040/FAX: 0797-71-1891

宝同協定期総会

5月16日（金）に、2025年度宝同協定期総会をソリオホールにて開催いたしました。出席者は、113名（委任状186名）と、多くの方がご参加ください人権・同和教育を大切にしてくださっているみなさんの思いが改めて感じられました。

「Sound Savvy（サウンドサビー）」のお二人のオープニング演奏の後、総会宣言が和久会長によって行われ、議事が進行されました。昨年度の活動報告、会計報告、監査報告が承認され、今年度の役員選出、活動方針案、予算案が全て可決されました。今年度も活発で実りある活動にしていきたいものです。総会後には、兵庫県人権啓発DVD『あなたのいる庭』を鑑賞して閉会しました。【吉野】

2025年度 宝同協選出役員		
役職名	名前	部会名
会長	和久 有彦	社会教育部
副会長（総務担当）	菅 理香	社会教育部
副会長（総務担当）	渡辺 和恵	社会教育部
副会長（研究担当）	林 純子	社会教育部
副会長（啓発・広報担当）	平松 反紀	社会教育部
副会長（調査・記録担当）	室崎 俊洋	社会教育部
副会長（会計担当）	伊藤 章	学校教育部
学校教育部部長	伊藤 章	学校教育部
社会教育部部長	中川 紗子	社会教育部
行政部部長	中出 勝也	行政部
企業部部長	(未決定)	企業部
校区人権啓発部部長	林 真佐男	校区人権啓発部
監査	西口 信幸	学校教育部
監査	小島 豊一郎	社会教育部

兵庫県人権啓発DVD 「あなたのいる庭」

今回の作品のテーマは

「社会における子どもの人権～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～」です。

社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしている子どもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち（ケアリーバー）がいます。社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。次代の社会を担う子どもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「子どもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。

（上映時間35分）※兵庫県・（公財）兵庫県人権啓発協会チラシより抜粋 （このDVDは、学校教育課で貸出しています。）

総会宣言

武庫川の「生」の石の上にスマホが乗せてあります

カルガモ親子が歌います 「いつまでも♪ キレイな水を守ってね♪」

運動場の砂場の穴にスマホが埋もれています

教室に入れない子が誰かに話しかけます 「私の居場所はどこですか？」
ダリア畑で朝陽を受けるスマホがこちらを向いています

テントウムシが心を込めて言います 「愛するこの地に子らをあつめようよ」
宝の塚の上にスマホが置かれています

ヤングケアラーと言われて苦しむ子が言います 「誰か！ たすけて～」
小さな古墳の中にスマホが隠されています

ミミズがやってきて、モゾモゾしながらも言います 「虐待やめろ！」
道端にスマホが捨てられています

踏まれながらも毎年咲くスミレが訴えます 「無意識イジメやめて！」
お寺の石畳にスマホが転がっています

大金を振り込んだおばあさんが叫びます 「サギするスマホ大嫌い！！」
植木の中にスマホがぶら下がっています

苗木が言いました 「誰一人取り残さないってホントにできるの？」
火の鳥が雲の上にスマホを運んできました

世界を飛び回る渡り鳥が叫びます 「戦争やめろ！ 平和を守れ！」

- ・スマートから聴こえてくる声に 私たちは無視することはできません
- ・小さな声にもスマホに頼る私たち大人は 応える責任があるようです
- ・それが “仲間であり 寄り添いであり 繋がり” だからです

2025年5月16日

宝塚市人権・同和教育協議会



議事進行の様子



オープニング演奏



Sound Savvy
(サウンドサビー)

宝同協始まって以来の物語ができました



=あらすじ=

小学5年生のせい吉ととみ子は、今日も学校を休んでいます。行きたくても、教科書はないし、子守もあるからです。親たちは、子どもたちを笑顔で登校させるために、力を合わせて教科書の獲得をめざします。せい吉たちも差し入れなどの知恵を出し合います。連夜の交渉のある日、あるお母さんの発した「弱いもんが一番本当のことが見えるねん」の言葉で、ついに330人の教科書をタダで獲得します。67年前の話です。

教科書無償闘争の歴史的事実を物語化しました。子どもの人権教材で、市民向け学習用作品です。作者も資料収集も編集も校正も、全て素人です。

〈物語〉

教科書は誰のもの？

学校の人権学習や地域や保護者の集まりなどで活用してください

問合せ：宝塚市教育委員会 学校教育課 宝同協事務局
TEL 0797-77-2040 Fax 0797-71-1891
申込み：希望の方は住所・名前・電話番号・部数を上記へ



「勉強ができない」という言葉をよく聞きます。この言葉の使い方に疑問をお持ちの方はいらっしゃるのではないかでしようか。「できない」のではなく「今はできないが、できるようになる」と考へられるからです。私のことで恐縮ですが、公の場や教育現場で子どものことで「勉強ができない」と言つたことはありません。その代わりの言葉としては「勉強の〇〇が遅れている」と言つてきました。すなわち、私にとつては子どもは「できない」ことはなくて、「いつかできるようになる」と考へてきたからです。

もちろんそこには、その子の努力が必要だし、先生をはじめとして家族や周りの支えがあつてこそです。さらには、学校であればクラスの仲間の支え合いが大きな力になります。学校の存在価値はそこにあります。例えば、逆上がりができない子がいたとします。先生の「肘を少し曲げてやつてごらん」の助言と、見守るクラス仲間の「がんばれ!」の励ましで、その日のうちにできるようになるようなことは多くあります。

このことは、心身の違いとか、生まれ育つてきた環境の違いなどで、時間的には差異が生じても、「できない」との決めつけはその子の成長や変化を否定することになります。

【和久】

阪神同教研究大会

8月2日（土）、第72回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会が、川西市立川西北小学校、キセラ川西プラザで行われます。宝同協からの分科会発表者は下記のとおりです。

原田 ひじりさん（宝塚市立逆瀬川保育所）

テーマ

一人一人を大切にする保育
～保護者とともに子どもを見守る保育をめざして～

岡本 由香さん（宝塚市立仁川幼稚園）

テーマ

互いに認め合い、支え合う仲間づくり

桂川 晋さん（兵庫県立宝塚北高等学校）

テーマ

教科指導における人権意識の涵養
～地理総合・地理探求を事例に～

中島 僥太さん（宝塚市立末広小学校）

テーマ

ありのままに自分らしく生きる

小川 瑞枝さん（宝塚市青少年補導委員連絡協議会）

テーマ

子どもたちの笑顔のために
～補導委員として大切にしていること～

林 純子さん（宝同協地域教材作成委員会）

テーマ

“我が街・宝塚を愛せる子どもたちに”の願いで
～地域教材『教科書は誰のもの?』を完成させました～

第72回阪神同教大会 第17分散会 阪神同教「子育てサポート部会」が運営



2025.8.2 (土) 9:30~12:30
(受付は9:00~)

会場：川西市立 川西北小学校

キセラ川西プラザ

【1部】

不登校児童支援団体（西宮市）から実践報告
『ねらい』規範の声から、支援の内容・子どもたちの様子・教育環境の多様化・現状の課題を共有

テーマ「もし学校がなかったら?」
子ども、大人の参加者によるディスカッション

事前申込が必要です！

申込・お問い合わせは【 】事務局まで…TEL

*第17分散会の内容等については、阪神地区人権・同和教育研究協議会事務局(TEL 0798-56-8773)まで

第72回 兵庫県人権・同和教育研究大会阪神地区大会（阪神同教大会）
主催：阪神地区人権・同和教育研究協議会、兵庫県人権教育研究協議会
主管：川西市人権教育協議会・川西市・川西市教育委員会
後援：兵庫県教育委員会 阪神教育事務所

今年度からPTA部会が子育てサポート部会へ変更になり、特別分散会を行います。親子でぜひ参加ください。
問い合わせは宝同協事務局（TEL0797-77-2040）までお願いします。

2025年度 第15回 宝同協研究大会

「人権交流学びのつどい」のご案内

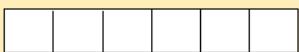
テーマ 『あなたに伝えたい わたしの思い』

日 時：2026年1月24日（土）13:30~16:30

場 所：宝塚市立教育総合センター

日 程：全体会 13:30~14:00 分科会 14:10~16:30

芽生えパズル



○たて・よこのマス目に下の文字をうまくあてはめます。
○太いマス目に入った文字を並へ替えてある言葉にします。
(答えは下にあります。)



- 3字 ことば・こせい・だりあ
5字 ゆうじょう
4字 すたーと
6字 ありのままに
7字 まなびつづける
10字 よりそうきもち
10字 ゆにはーさるでざいん

【井上】

Han-ton-zu 「〇〇代行」大流行 (ハーツンズ)

- | | | |
|--|-----|-------------------------------------|
| | ボク | 「今日、学校行きたくないんだけど」 |
| | 二一 | 「学校代行に頼んだら」 |
| | オトン | 「ダメ、学校は行くもんだ！」 |
| | オカア | 「そうよ、退職代行を頼んだオトンみたいになるよ」 |
| | ネエ | 「いいやん。行きたくないって言つてるんだから」 |
| | ボク | 「学校代行って、どうしてくれるんだっけ」 |
| | 二一 | 「電話したら代わりに登校してくれて、終われば家に来て教えてくれるんだ」 |
| | オカア | 「電話番号知ってるの」 |
| | ボク | 「知らないから、電話して聞いてよ」 |
| | オカア | 「どこにするの？」 |
| | 二一 | 「もちろん、電話代行にだよ」 |
| | オジイ | 「めんどくさ～。さっさと学校行けよ」 |

学校の様子

中山台小学校



人権・同和参観、懇談会がありました。「いじめ・差別・仲間づくり」をテーマに学年ごとに考えて参観授業を行いました。人権懇談会では、保護者と一緒に「人権問題学習DVD」を見て感想を交流しました。

【松延】

街角風景



路地で見つけた野イチゴ
【和久】



こう見えて毒は無いんです
【平松】

解放文化祭のお知らせ

くらんど解放文化祭 10月23日、24日

まいたに解放文化祭 11月6日、7日

ひらい解放文化祭 11月7日、8日

内容：子どもの作品、人権文化センター事業についての展示等



編集後記

第34号宝同協だより「芽生え」をご覧いただきありがとうございました。編集委員一同、心を込めて作成いたしました。忙しい日々の中、じっくりと物事を考える余裕はありませんが、本誌をご覧いただくことが、みなさまにとって人権に目を向け考える機会となりましたら幸いです。【渡辺】

宝同協だより「芽生え」編集委員

渡辺 和恵・平松 友紀・佐古 由紀恵・井上 智惠
松延 美穂・濱崎 桂伍・池澤 徳子・和久 有彦
木元 淳一・石櫃 孝啓・吉野 大樹・美除 浩
清水 浩明

答え ともだちだいすき